



一般質問



試される「校区まちづくり協議会」支援体制

自由民主党議員団 徳永 春男 議員

校区まちづくり協議会の事業運営に対する活動支援からみた人員配置の検討・見直し

問 専属事務員の配置は。**答** 活動状況等に応じ、各校区で検討をお願いしたい。また、交付金増についても検討したい。

農地集約に対する今後の方向性と圃場整備に係る具体的な取り組み

問 上記について聞きたい。**答** 策定中の人・農地プランで方向性を明確にし、整備可能な地域で重点的に推進を図る。地元説明会に入り進捗に取り組みたい。

ノーカーデーの必要性和その取り組み

問 公共交通維持の観点から、行政が先頭に立ち取り組む考えは。**答** 7月以降、毎月第3水曜日を

基本に実施する予定としている。

食育推進計画の中間評価に対する認識

問 概ね図られており評価できるとする判断基準は。**答** 基準値を上回る「上昇・改善傾向」が約7割の項目であったことを評価。26年度の目標達成に向け、事務局会議等で十分検討したい。

6月18日 再質問からの一問一答方式により質問

■1 大牟田市食育推進計画の中間報告と今後の計画の見直しについて（1）大牟田市食育推進計画の中間評価（13項目の数値目標）に対する認識（2）中間評価以降の推進計画の見直し及び次期食育推進計画の取り組み ■2 大牟田市の地域コミュニティづくりと公民館活用のあり方について（1）校区まちづくり協議会の事業運営に対する活動支援体制から見た人員配置の検討見直し（2）校区まちづくり協議会と今までの地区公民館の役割とあり方から見た合理的運営 ■3 大牟田市の農業実態と国策による人・農地プラン及び実施体制について（1）農地集約に対する今後の方向性と圃場整備に係る具体的な取り組み ■4 バス、電車の利用者減少対策について（1）ノーカーデーの必要性和その取り組み



少人数学級を推進し全国学力テストも見直すべき

社民・民主・護憲クラブ 平山 光子 議員

少人数学級の推進

問 昨年9月に文部科学省が策定した少人数学級推進計画を、安倍政権となって見直した。文科省資料では少人数学級の効果が示され、国民も望んでおり、早急に実現すべき。教育長の見解は。**答** 速やかに第8次の定数改善計画の策定が行なわれ、環境整備が

進められることを望んでいる。

全国学力テストによる点数競争の過熱

問 全国で40億円もかける、いわゆる学力テストは必要なのか。点数競争が過熱し、学校別の成績公表も検討されているが、見解は。**答** 調査の目的や趣旨、序列化や過度な競争につながらないように

の配慮事項に沿った取り扱いを今後もしていく。

早期の発達支援

問 山口県は5歳児健診・発達相談という先進的な取り組みを行っている。本市も検討を。**答** 県市長会を通じ、国に法的整備、財政支援を要望している。

6月18日 一問一答方式により質問

■1 教育行政の諸課題について（1）少人数学級の推進と教職員の定数改善（2）義務教育費国庫負担制度（3）全国学力テストによる点数競争の過熱と小中学校学力向上推進事業 ■2 子ども支援の充実について（1）学童保育所等へのバス送迎事業（2）早期の発達支援（3）子ども・子育て支援新制度施行に向けた準備



子ども・子育て支援新制度への対応と地域健康力アップについて

自由民主党議員団 田中 正繁 議員

子ども・子育て支援新制度への対応

問 新制度が27年度より新しくスタートするが、今後の対応は。**答** いきいき子どもプランⅡ後期行動計画の推進を図り、新制度の本格実施への準備を進める必要がある。制度実施に向けニーズ調査を行い、子ども・子育て支援事業計画の策定を進めていきたい。

健康づくりと健康増進

問 県内でも受診率の低い各種検診と地域健康力アップ推進事業の今後の取り組みは。**答** 各種がん検診の受診率は、地域健康力アップ推進事業により指定した5つのモデル校区で41%の増加、モデル校区以外でも12%の増加となっている。今後もモデル

校区の拡充を図り、健康増進計画を策定し、健康づくりに取り組んでいく。

教育環境の充実

問 教室の暑さ対策について聞きたい。**答** 扇風機等が購入できるよう各学校へ予算を5万円増額している。

6月18日 再質問からの一問一答方式により質問

■1 定住自立圏と定住政策について（1）定住自立圏の今後の方向性（2）定住政策の推進 ■2 市長の政治姿勢について（1）健康づくりと健康増進（2）子ども・子育て支援新制度への対応（3）教育環境の充実（4）観光資源と観光情報の発信